

第3学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動 <言語活動例>	
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準
4月	1	音読しよう	すいせんのラッパ	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、音読することができる。	7	16	○			○		【関】場面の様子や人物の気持ちを想像しながら楽しんで音読しようとする。 【読】場面の様子や人物の気持ちを伝わるように、読む速さや声の大きさ・高さに注意して音読している。	内容や場面の様子がよく分かるように音読する。 <音読発表会>
			図書館へ行こう	・図書館の本が内容によって整理されていることを知ることができる。	1		○			○	【関】図書館の使い方や配架に興味を持ち、本の探し方を知ろうとしている。 【読】図書館の本が内容ごとに分けて整理されていることを知り、自分が読みたい本を探す時に役立てている。		
			自分をしようかいしよう	・自分について様々な観点から振り返り、書くための材料を集めることができる。	5		○		○		【関】友達に自分のことを伝えるために、自己紹介の文章を書こうとする。 【書】自分について振り返り、メモを使って書くための材料を集めている。	相手に知ってもらいたいことを決め、自己紹介文を書く。	
			国語じてんの使い方を知ろう	・国語辞典の仕組みや使い方を理解することができる。	3		○			○	【関】国語辞典の必要性に気づき、活用しようとする。 【言】国語辞典の仕組みと使い方を理解している。		
5月	2	読んで、感そうをつたえ合おう	自然のかくし絵	・段落ごとの内容を捉えながら文章を読むことができる。	7	15	○		○	○		【関】昆虫の生態に興味を持ち、進んでないようをまとめたり感想を出したりしようとする。 【読】段落ごとに昆虫の身のかくし方について、内容の中心となる語や文に着目して読んでいる。	文章を読んで、感想を交流する。 <かくし絵カード>
			「こそあど言葉」を使いわけよう	・指示語の働きや種類について理解し、状況に合った指示語を選んで使うことができる。	2		○		○	○	【関】指示語の働きや種類に関心を持ち、知ろうとしている。 【言】◎指示語の働きや種類について理解し、状況に合う指示語を選んで使っている。伝国イ(ク) 【書】指示語を使って正しい文を書いている。		

1 学期	6 月	3 物語のし かけをさがそ う	話したいな、うれ しかったこと	・うれしかったことを聞き 手に伝えるために、話す 事柄を選び、筋道を立て て話すことができる。 ・話し手が伝えたいこと の中心を考えながらスピー チを聞くことができる。	6	○	○			【関】うれしかったことについてスピーチで 伝え合うことに興味を持ち、楽しんで取り 組もうとしている。 【話聞】聞き手に伝わるように、話す事柄 を選び、筋道を立てて話している。 【話聞】話し手が伝えたいことを考えなが ら聞き、質問したり感想を述べたりする。	スピーチをしたり、聞いたりする。	
			ゆうすげ村の小さ な旅館	・物語で起きた出来事を 読み取り、物語のしかけ を見つけることができる。	10	○		○	○	【関】物語を読むことに興味を持ち、物語 のしかけを探して読もうとしている。 【読】それぞれの場面の出来事をおさえ、 場面と場面とを関係づけて読んでいる。 【読】物語のしかけを見つけるために、文 章中の語や表現に着目して読んでいる。 【書】言葉欄の言葉から、体験を想起し、 短い文を書いている。	物語を楽しんで読む。 〈あらすじ紙芝居〉	
			漢字の組み立て と意味を考えよう	・漢字が部首と他の部分 とによって構成されている ことを理解することができる。	2	○				○	【関】漢字の構成について興味を持ち、部 首について知ろうとしている。 【言】漢字のへん、つくり、かんむり、あ し、かまえ、にょうなど、部首と他の部分と によって漢字が構成されていることを理 解している。	
			インタビューしてメ モをとろう	・話のまとまりに気をつけ て、要点をメモにとりなが ら聞くことができる。	4	○	○				【関】話のまとまりに気をつけながら聞こう としている。 【話聞】話のまとまりに気をつけて、大事 なことを短い言葉でメモに書いている。	メモを取りながら説明を聞く。
			調べて書こう、わ たしのレポート	・知りたいことに応じた調 べ方を考えて調べ、分か ったことを整理してレ ポートを書くことができ る。	10	○				○	【関】知りたいと思ったことを調べ、レポー トに書くことに興味を持ち取り組もうと している。 【書】身近なところから調べることを決 めて、そのことに合った方法で調べてい る。 【書】考えたレポートの構成をもとに、調 べた事柄をレポートに書いている。	疑問に思ったことを調べて、レポー トを書く。B(2)イ 収集した資料を効果的に使い、説 明する文章などを書く。B(2)ウ 〈昔の学校・昔の遊びについて調 べたレポート〉
7 月			俳句に親しもう	・俳句に描かれた情景を 思い浮かべ、言葉の響き やリズムを感じ取りなが ら、音読や暗唱をすること ができる。	5	○			○	【関】俳句に興味を持ち、好きな句を選 んで音読したり暗唱したりし、親しもう としている。 【言】俳句のきまりや特徴を知り、情景 を思い浮かべたり、響きやリズムを感 じ取ったりしながら音読している。	好きな俳句を暗唱する。	

		本はともだち	・読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	4	○				○	【関】自分の興味にあった本を探し、進んで本を読もうとしている。 【読】図書紹介を利用したり、読んだ本と同じものが出てくる本を探したりしながら、読みたい本を選んで読んでいる。	「三年生の本だな」や「きつとある君の心に残る本」を利用し、自分が読みたい本を選んで読む。
9月	詩を読もう	紙ひこうき 夕日がせなかをおしてくる	・場面の様子を思い浮かべながら、詩を音読することができる。	2	○				○	【関】詩を読むことに興味を持ち、楽しんで詩を読もうとしている。 【読】詩に描かれている場面の様子を想像し、思い浮かべながら音読している。	詩を音読する。
	4 書き手のくふうをかんがえよう	「ほけんだより」を読みくらべよう	・二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の工夫をとらえて読むことができる。	8	○				○	【関】二つの文章を読み比べ、事柄の取りあげ方や説明の仕方の工夫を見つけようとしている。 【読】文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、表現の仕方に着目して読んでいる。 【書】二つの文章のどちらがよいか、理由を明確にして書いている。	文章を読み比べて考えたことを書く。 〈比べてノートに書く〉 ・フォークとナイフ ・救急車と消防車 ・りんごとみかん
		心にのこったことを	・文章の構成を考え、出来事の様子やその時の気持ちが伝わるように、文章に書くことができる。	5	○				○	【関】心に残った出来事の様子やその時の気持ちが相手に伝わるように、組み立てを考えて文章に書くことに興味を持って取り組もうとしている。 【書】一番伝えたいことを決めて、読み手に分かりやすい文章の組み立てを考えている。	強く心に残ったことを、中心をはっきりさせて書く。 生活の中の出来事を伝える文章を書く。
		ローマ字	・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書くことができる。	3	○					○	【関】ローマ字に興味を持ち、読んだり書いたりしようとする。 【言】ローマ字の表記方法を理解し、ローマ字で書かれた単語を読んだり、ローマ字で単語を書いたりしている。
		サーカスのライオン	・物語の中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読み、感想を伝え合うことができる。	11	○				○	【関】物語を読むことに興味を持ち、中心となる人物の気持ちの変化を考えようとしている。 【読】物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い、一人ひとりの感じ方について違いがあることに気付いている。 【書】自分の感想が伝わるように、理由を挙げて書くことができる。	感想を伝え合う。 〈心に残ったじんざに名前をつけて理由を書く〉

2 学期

10 月	1 感想をつたえ合おう	人物を考えて書こう	・物語の人物の様子やその人物の会話、行動を想像し、物語を書くことができる。	10	38	○	○	○	○	【関】絵の中の人物について想像して物語を書くことに、興味を持って取り組もうとしている。 【書】4枚の絵のそれぞれの場面がつながるように、構成を考えて物語を書いている。	4枚の絵から想像を広げて物語を書く。
		ようすをくわしく表そう	・様子を詳しく表す言葉を含む文から、初歩的な文の組み立てを理解することができる。	2		○	○	○	○	【関】文の組立てに興味を持ち、様子を詳しく表す言葉について知ろうとしている。 【言】文の中での様子を詳しく表す言葉の働きについて理解している。	
		グループで話し合おう	・話し合いの進め方を意識して、司会の進行に沿ってグループで話し合えることができる。	7		○	○	○	○	【関】司会の進行を意識しながら、進んで自分の意見を出して話し合おうとしている。 【話聞】他の人の意見をよく聞き、互いの意見の共通点や相違点を考えながら、司会の進行に沿って、話し合っている。	グループで話し合う。
		慣用句を使おう	・慣用句について知り、意味や使い方を調べて、自分の表現において使うことができる。	3		○			○	【関】慣用句に関心を持ち、意味などを調べて、生活の中で使おうとしている。 【言】慣用句について知り、意味や使い方を理解している。	
		案内の手紙を書こう	・案内するときに必要なことを考え、案内の手紙を書くことができる。	5		○	○			【関】案内の手紙を書く時に、大事なことを落とさないように書くことに興味を持って取り組もうとしている。 【書】伝えたい内容が明確に伝わるように手紙を書いている。 【書】気持ちが伝わるように、言葉を選び、敬体で案内の文章を書いている。	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書く。
11 月	2 はたらく犬について調べよう	もうどう犬の訓練	・大事な言葉や文を見つめながら文章を読み、書かれていることを要約することができる。	12	12	○	○	○	【関】働く動物について関心を持ち、いろいろな資料を読んで調べようとする。 【読】目的に応じて大事な言葉や文を見つめながら読み、書かれている内容を要約している。	記録や報告の文章、図鑑や辞典などを読んで利用する。C(2)イ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う。C(2)ウ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む。 C(2)オ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ 〈はたらく犬ものしりカード〉	

1 2 月	3 世界の物語をしようかいしよう	はりねずみと金貨	・いろいろな国や地域の物語を読み、読んだ本のあらすじをまとめて紹介することができる。	12	○	○	○	○	【関】いろいろな国や地域の物語を読み、読んだ物語を友だちに紹介しようとしている。 【読】友だちに紹介するために、あらすじを文章にまとめることができる。 【読】読書を楽しむために、いろいろな国や地域の物語の中から、読みたい本を選んで読んでいます。	物語や詩を読み、感想を述べ合う。C(2)ア 紹介したい本を取り上げて説明する。C(2)エ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む。C(2)オ 〈世界の民話しようかいカード〉
		気持ちを言葉に	・発見や感動が伝わるように、言葉を考えて詩を書くことができる。	3	○	○			【関】発見や感動が伝わるように、言葉を考えて詩を書くことに興味を持って取り組もうとしている。 【書】気持ちが動いたことや発見したことを思い出している。	心に強く残ったことを詩に書く。(児童詩)B(2)ア
		わらい話を楽しもう	・昔から伝わる笑話を読んで親しみ、おもしろかったところが伝わるように音読することができる。	4	○			○	【関】笑話のおもしろいところを見つけ、楽しんで読もうとしている。 【言】伝統的な笑話のおもしろさや言い回しなどに気付き、親しんでいる。	笑話を音読する。C(1)ア
1 月	4 世界の家のつくりについて考えよう	人をつつむ形ー世界の家めぐり	・文章や絵から読み取ったことを整理し、いろいろな家の作りについて考えることができる。	11	○	○	○		【関】家のつくりに興味を持ち、進んで本文を読んで家のつくりの工夫や土地の特徴などを整理して、いろいろな家のつくりについて考えようとしている。 【読】段落相互の関係に気をつけながら、家のつくりの工夫に関わる語や文を捉えて読んでいます。 【読】いろいろな家のつくりについて考えたことを発表し合い、互いの考えの違いに気付いている。	世界の家のつくりやそこに住む人々の暮らしについて考える。☆必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章を読む。C(2)オ 〈世界の不思議な家カード〉
		漢字の表す意味を考えよう	・漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理することができる。	2	○			○	【関】漢字の表す意味に興味を持ち、いろいろな意味について考えようとしている。 【言】複数の意味を表す漢字があることを知り、漢字の表す意味の違いを理解している。	
		町について調べてしようかいしよう	・町について紹介するために、必要な事柄を調べてまとめ、資料を使って分かりやすく話すことができる。	10	○	○			【関】町について調べたことを発表することに意欲的に取り組もうとしている。 【話聞】調べたことを整理し、事例を挙げたり資料を使ったりして話している。	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。A(2)ウ 町について紹介する。
2 月				30						

